

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

### ＜本年度の学力向上基本方針＞

- 基礎的・基本的な内容の確実な定着そして向上
- 学び合い活動を取り入れた授業の推進
- 個別指導の充実

### ＜本年度の学力向上策＞

- 1 落ち着いた授業環境の下での丁寧な学習指導
  - (1) すぐれた授業規律を保持し、さらなる向上を図る。
  - (2) 本校独自の「南中漢検・数検・英検」を行い、基礎学力の一層の定着を目指す。
  - (3) 教室前面の掲示について、ユニバーサルデザインの観点を取り入れた共通理解ですべての生徒が学習しやすい環境をつくる。
- 2 すべての教科における、学び合い活動を取り入れた授業改善
  - (1) 話し合い活動等を通して、表現力やコミュニケーション力、思考力を育成し、学力の向上につなげる。
  - (2) 定期テスト前の質問会や、日頃の授業の中で、生徒同士が教え合う機会を作る。
- 3 生徒一人ひとりの能力把握と、個に応じた指導の充実
  - (1) 昨年度の特別支援学級での指導の経験を活かして、個々の生徒の学力を把握し、希望者には、保護者を含めた協議の上、別室での個別指導を実施する。
  - (2) 上記の「南中漢検・数検・英検」の事後指導を丁寧に行い、繰り返し指導を行っていく。
- 4 家庭・地域と連携した学習環境の整備
  - (1) 学習の仕方や生徒の学習状況等について、保護者にも理解を深めてもらう。
  - (2) 地域の人材を活用したチャレンジスクールのさらなる充実を図る。

### ＜本年度の振り返り＞

- ・授業規律は「よい授業」アンケートの数値からも良好であり、また、学校評価質問調査の『先生は分かりやすい授業に努めていると思う』の項目について、99%の生徒が肯定的な回答をしている。
- ・本校独自の「南中漢検・数検・英検」とそれに伴う細やかな指導が継続されており、学校評価質問調査の『学力は向上していると思いますか』の項目では、78%の生徒が肯定的な評価をしている。これは昨年度と比べると5ポイントの増加である。
- ・個別指導については、年度途中で時間割を一部入れ替えることを含め、積極的に行うことができた。
- ・継続中の「学び合い」（「児童生徒の活動」）の授業実践も、教員同士が情報交換を密にし、更なる工夫をしていく必要がある。

